

大学で学ぶ意義は

八学大40周年
記念事業 小原会長（日本私立
大学協会）講演

八戸学院大は6日、同大で40周年事業記念講演会を開いた。学生約800人が日本私立大学協会会長で玉川学園（東京）の小原芳明理事長の講話に耳を傾け、大学で学ぶ意義などについて理解を深めた。

前年度に開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で1年延期となった。学内の講演会場と各教室をオンラインでつなぎ行われた。

小原理事長は、同規模の工場でも、働く人たちの教育格差によって生産力に差が生じることなどを例に挙

げ、大学教育の重要性を指摘。科学技術の急速な進歩により、社会に出てからも学び続ける必要性が高まっているとし「現代の大学は社会への『移行機関』であり『期間』だ」と訴えた。一つでも多くの夢を持つ

てほしいと願いを込め、同学園創立者の小原國芳が、「夢」の漢字に1画を足した書を卒業生に贈っていたエピソードを紹介。「夢を持ち、理想の自分になるため」という学びをしなければならぬか考えてほしい」と呼びかけた。

（金澤一能）



講演する小原芳明理事長